

乳幼児の身の回りの 製品事故防止ガイド

ヒヤリ・ハットレポート No.12



東京都では、乳幼児に関する「製品」についてヒヤリ・ハット体験を掘り起こすためにインターネットアンケート調査を行いました。

このガイドは、調査結果に基づき乳幼児の身の回りの事故を防止するためのポイントをまとめたものです。

調査概要

「乳幼児が使う製品による危険」「乳幼児を育てるために使う製品による危険」

○調査対象：東京都及び近県に居住する0～6歳（未就学児）の子供を持つ20歳以上の男女3,000人

○調査期間：平成27年1月～2月



乳幼児が使う製品でヒヤリ!

●おもちゃでこんなことが… (538件)

(三輪車100件、身体を動かすおもちゃ60件、小型のおもちゃ・知育玩具56件 等)



- 三輪車に乗っていたら前のめりに転倒し、地面にあごを強打して出血した。(男3歳)
- トランポリンではねていたら、バランスを崩して壁の角にひどく頭をぶつけてぱっくり割れて、血まみれになった。(女4歳)
- ミニカーを噛んで遊んでいて、タイヤが取れてしまい、飲み込みそうになった。(男0歳)
- ブロックの破片を鼻に入れてしまい、ピンセットでは取れず、急いで病院へ行った。(女2歳)

●飲食物や食器類でこんなことが… (210件)

(フォーク53件、スプーン37件、あめ17件 等)



- フォークを口にしたまま、よちよち歩きをして転び、口の中を切った。(男1歳)
- コンビニで買ったヨーグルトを、一緒に貰った小さい透明のプラスチックスプーンで食べていたら、目を離れた際にスプーンをかじって割ってしまった。(男3歳)
- あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息ができなくなってしまった。背中を叩いて出した。(女4歳)
- 離乳食のお粥を用意したところ、ちょっと手で触れたようで、指先が水ぶくれになり病院に連れて行った。(男0歳)

ケガやヒヤリ・ハットの事例は1,248件!

※ このガイドにおける「乳幼児」とは、0歳から6歳までの未就学児をいいます。 ※ 「ヒヤリ・ハット」～ケガをしそうになった。

●衣服等、身に着けるものでこんなことが… (201件)

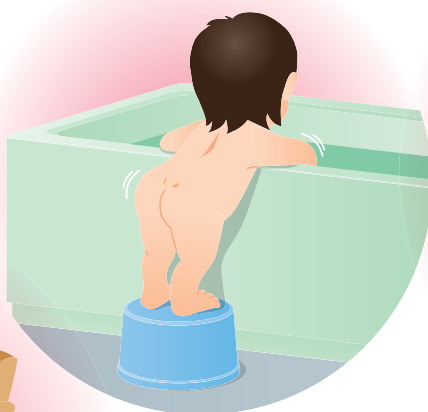
(フード付きの服35件、髪留め30件、ファスナー付きの服・ポシェット19件 等)



- 滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られて首が絞まりそうになった。(男5歳)
- ファスナーで指を挟んでしまったとき、どうしたらよいのかわからなかったのか、さらに挟まる方ばかり引っ張っていた。(男3歳)
- 髪留めが落ちてきて、目のところを刺しそうになった。(女0歳)
- 肩からかけるタイプのポシェットを着けて走っていたとき、肩からずり落ち、足に絡まった。(女3歳)

●そのほかの日用品でも… (299件)

(歯ブラシ243件、椅子9件、はさみ・ペン等3件 等)



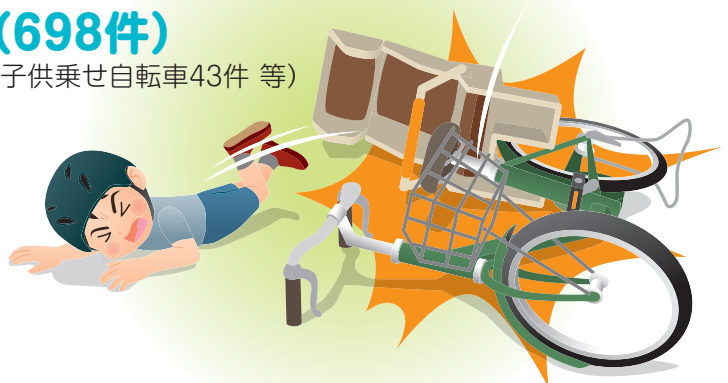
- 歯ブラシをくわえたままソファでジャンプして転び、のどの中を突いてしまった。(男3歳)
- 歯磨きをしているとき、洗面所に置いてある子供用の踏み台から転落した。歯ブラシをくわえていたため、のどを突く危険があった。(男5歳)
- 子供用の椅子から身を乗り出して落ちてしまい、目の辺りを痛がり大泣きした。シートベルトはしていなかった。(女1歳)
- 浴槽に入るために子供用の風呂の椅子を踏み台代わりに使っていて、浴槽に落ちそうになっていた。(女2歳)



育児のための製品でヒヤリ!

●移動用具でこんなことが… (698件)

(ベビーカー397件、抱っこひも及びスリング239件、子供乗せ自転車43件 等)



- 子供をベビーカーから降ろして、そばにいるのは知っていたが手の位置までちゃんと見ておらず、たたむときに指を挟んでしまった。(女1歳)
- 前かがみで抱っこひもを背中止めようとしたときに、子供が頭から落ちてしまった。(男1歳)
- 子供を自転車に乗せて出かけようとした際、忘れ物をしたのに気づき、玄関が近かったのでつい子供を乗せたまま自転車を止めて離れたら、自転車が倒れた。(男2歳)
- 車のチャイルドシートのベルトをしっかりと締めていたと思っていたが、信号で止まってふと見ると立ち上っていた。すかさず抱っこし、近くに緊急停車した。(男0歳)

●安全グッズでこんなことが… (197件)

(ゲート66件、ベッドガード52件、コンセントキャップ33件 等)



- 2階の階段の上に付けたゲートに何度も体当たりされてはすれて、階段から落ちそうになった。(男2歳)
- 階段の手前に格子のドアを設置。開け方がわからないと思って油断していたら、開け方を見て覚えたようで、ドアを開けたり閉めたりして指を挟んだ。(女3歳)
- つかまり立ちができるようになっていて、朝、子供だけ早く起きたときに、ベッドガードから身を乗り出して遊んでいた。(男0歳)
- コンセントキャップをはずし、家のカギをコンセントに突っ込もうとしていた。(女2歳)

●衛生用品でこんなことが… (212件)

(綿棒87件、耳かき44件、補助便座及びおまる24件 等)



- 落ちていた綿棒を耳に入れて遊んでいて上の子がぶつかり、綿棒がさらに耳の奥まで入り、鼓膜が破れた。(男2歳)
- 耳かきが大好きで、目を離したときに自分で耳かきを使用していた。(女2歳)
- 子供用便座を自分で設置したはいいが、きちんとはまっていなかったようで、娘が座ろうとしたときに便座ごと床に落ちてしまった。(女3歳)
- 空になったオムツの袋に頭を入れて遊んでいた。(女1歳)

●そのほかの日用品でも… (292件)

(ベビーベッド104件、バウンサー87件、椅子類57件 等)



- まだ寝返りを打てない時期に、幼児用枕がずれて、呼吸が苦しくなって泣いた。(女0歳)
- ベビーベッドの柵をあげていたが、出たかった息子が中段あたりの切り替えしのような部分に足をかけ、反動をつけて越えようとし、そのまま落下した。(男1歳)
- ベビーベッドに寝かせていたとき、足首が柵と壁に挟まった状態で寝返りをうとうとしていた。(女1歳)
- まだ動かない月齢だったので、股ベルトをしないでバウンサーに乗せていて、気付いたらずり落ちていた。(男0歳)
- ハイローチェアを高くして横に寝かせているとき、少しずつ動いて床に落ちた。大きな音とともに大泣きし、すぐに病院に連れて行った。(女0歳)
- 消防自動車を通ったときに、踏み台をベランダに運び出して上がって見えた。(男4歳)



乳幼児の製品による事故防止のポイント!



お座りまでの時期

- じっとしているようでもよく動きます!
- 自分の意思でものを動かさせません!

- ベビーベッドの柵をきちんと上げましょう。
- バウンサーやベビーカーでは、しっかりベルトを装着しましょう。
- 赤ちゃんにタオル等をかけるときは、顔にかからないようにし、顔のそばにタオルやぬいぐるみを置かないようにしましょう。



ハイハイからつかまり立ちの時期

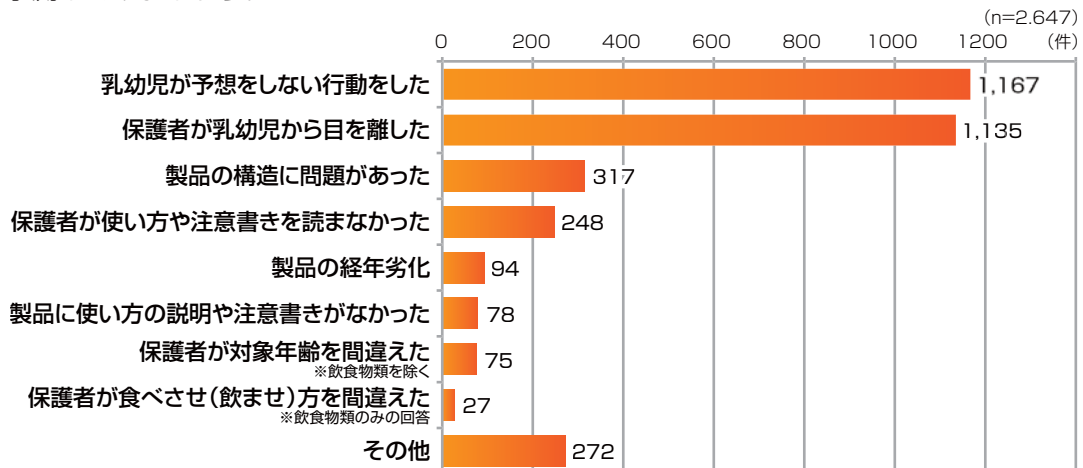
- 指で小さいものをつまめます!
- 自分で移動ができます!

- つまんだものを何でも口で確かめる子供もいます。人体に危険だと思われるものだけでなく、小さいおもちゃや豆等の飲食物、包み紙やビニール等、子供の手が届く場所に置かないようにしましょう。
- 口だけでなく、鼻や耳にもものを入れることがあります。鼻や耳について普段と違う様子が見られるときは、異物が入っていないかを確認しましょう。

「なぜヒヤリ・ハットが起これたと思いますか?」 ～アンケートより～

今回は、事例一つ一つについて複数選択式で保護者が思う理由を聞きました。その結果、事例 2,647 件について「乳幼児が予想をしない行動をした」「保護者が乳幼児から目を離した」が、圧倒的に多い結果となりました。

子供は予想のつかない行動をします。それぞれの年齢での成長が見受けられたとき、何かに興味を持ち始めたときには、その発達に応じた行動の変化を想像し、子供の回りにどのような危険が潜んでいるのかを予測してみましょう。





歩き始める時期

- 家の中での行動範囲が広がります！
- 好奇心が旺盛になります！

- バランスを崩して転びやすいので、歯ブラシやフォーク、スプーン等を持ったまま立ち上がらせたり、歩かせないようにしましょう。
- 口に入れて危険なものは、子供の視野に入らないようにしましょう。



走ったり飛び跳ねたりし始める時期

- 運動能力が高まります！
- 外遊びが増えます！

- フードや紐のついた衣服、ポシエット等を身に着けて遊ばせないようにしましょう。
- 危険を回避する能力はまだ備わっていないため、三輪車や二輪車に乗るときには、大人が付き添うようにしましょう。

「2人であるから大丈夫？」 ～複数人の子供がいるとき～



- 2か月のとき、2歳のお兄ちゃんがいつの間にか「あめ」を食べさせて、のどに詰まらせた。(女0歳)
- 階段ゲートを取り付けていたが、上の子が親の見えない間にロックをはずして、下の子がそれを開けて転げ落ちてしまった。(女1歳)
- 4歳の子供が親の真似をして、1歳の子供の耳掃除をしていた。(男1歳)



SGマークを 知っていますか？

乳幼児用製品には、(一財)製品安全協会による安全基準に適合していることを示すSGマークの表示対象となっているものがあります。表示の法的義務はありませんが、第三者認証の基準であり、製品の欠陥が原因による対人損害を賠償する制度が付加されています。

● SGマークの表示対象の乳幼児用品

- ・ 乳母車
- ・ すべり台
- ・ 幼児用鉄棒
- ・ 幼児用三輪車
- ・ 足踏式自動車
- ・ 乳幼児用ベッド
- ※乳幼児用ベッドは、PSCマークの表示が法律で義務付けられています。
- ・ 抱っこひも ・ 乳幼児用ハイチェア
- ・ 乳幼児用移動防止さく
- ・ 乳幼児用いす
- ・ 乳幼児用ハイローラック
- ・ 幼児用ベッドガード
- ・ 乳幼児用揺動シート など

一般財団法人製品安全協会ホームページ
<http://www.sg-mark.org/>



家庭でできる応急手当 「異物を飲みこんでしまったら…」



●ちっ息の際の対応のポイント

のどにものがつまったら、左腕に子供をうつぶせで頭を下向きにし、背中を強く4～5回たたきます。1歳以上の子供の場合は、両腕を子供の体にまわし、コブシをおへその上の胃のあたりに当て、上の方へすばやく押しつけます。

●誤飲の際の対応のポイント

子供が誤って何かを飲み込んだときには、水や牛乳を飲ませ、吐かせるのが原則ですが、例外もあるので注意しましょう。

・タバコ	・大部分の医薬品等	・パラジクロルベンゼン ・ナフタリン ・防虫剤等	・除光液 ・灯油 ・ガソリン ・ベンジン等の揮発性物質	・トイレ用洗剤 ・漂白剤等の強酸 ・強アルカリ
↓	↓	↓	↓	↓
原則として何も飲ませない	水や牛乳を飲ませるのどの奥を刺激してすぐに吐かせるようにする	牛乳は飲ませない 防虫剤等は油に溶けやすいので、牛乳を飲ませると毒物の吸収を早める	何も飲ませない 吐いたものが気管に入り肺炎などを起こすので吐かせない	牛乳／卵白を飲ませる無理に吐かせると食道などの粘膜を再び痛めるので吐かせない
↓	↓	↓	↓	↓
吐かせる	吐かせる	吐かせる	吐かせない *救急病院へ	吐かせない *救急病院へ

●チェックポイント…病院に連れていくときには！

- ①何を飲んだか
- ②いつ飲んだか
- ③どれだけの量を飲んだか
- ④色が悪いなどいつもと違うところはないか
- ⑤けいれんを起こしていないか
- ⑥意識ははっきりしているか
- ⑦誤飲したものの容器、袋、説明書などを持っていく

(出典:国立保健医療科学院 子どもの事故防止支援サイト)

危険と思われるものの誤飲時の相談先

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

※中毒110番は化学物質や動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しています。

大阪中毒110番(365日24時間対応)

072-727-2499(情報提供料:無料)

つくば中毒110番(365日9時～21時対応)

029-852-9999(情報提供料:無料)

東京消防庁救急相談センター

急な病気やケガをした場合に、「今すぐ病院へ行くべきか?」、「救急車を呼ぶべきか?」など迷ったときは「東京消防庁救急相談センター」へ相談しましょう。

#7119(プッシュ回線・携帯電話・PHS)

ダイヤル回線電話やつながらない地域からは

23区:03-3212-2323

多摩地区:042-521-2323

東京都消費生活総合センター 消費生活相談 03-3235-1155

事故にあったとき、商品・サービスに原因があると思われる場合には、消費生活センター等の機関に申し出ましょう。

調査結果の詳細や危害危険情報:

「東京くらしWEB」<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>

Twitter:「東京都消費生活行政」https://twitter.com/tocho_shouhi

Facebook:「東京都消費生活」<https://www.facebook.com/tocho.shouhi>



事故防止ガイド

乳幼児の「身の回り」「誤飲」「やけど」「転落・転倒」の事故防止ガイドも配布中です。WEBでもご覧いただけます。

※詳しくはお問い合わせください。

